

平成21年度 生涯学習部の取組方針

生涯学習部長 金川剛文は、歴史を継承し、文化を創造し、心豊かに暮らせるまちを目指し、本年度実現すべき緊急かつ重要な生涯学習部の取組事項について実現に向けた取組方針を提示します。

平成21年6月19日

生涯学習部長 金川剛文

1 職員の意識改革

①組織力の維持・向上

(内容)

組織力の維持、向上を図るためには、担当以外の業務に対しても、意見交換をする等、積極的に関わる意識が重要になります。
そのための情報の共有化、意思の疎通を図り、共通の認識に立って業務にあたることを徹底します。また、業務ノウハウを伝承するための課内研修を実施します。

2 業務点検(コンプライアンスの確保を含む)

①進捗状況の把握

(内容)

事務事業について正確かつ適正に実施するためには業務実態の把握及びチェック体制の確立が重要になってきます。そのため各課協議を毎週必ず行い、業務の進捗状況を把握し、適切な管理、監督、指導を徹底します。
また、個々の事務処理においては、担当以外の業務に対しても、制度的な不備や初歩的な誤りを見逃すことがないよう高い意識をもって取り組みます。

3 市民からの信頼回復

①市民からの信頼回復

(内容)

事務事業の実施に当たり、事務の効率化等は重要であるが、チェックなどの処理を怠ることなく基本に立ち返り、誠実な対応を心がけるとともに、積極的な説明責任や情報提供に努めます。

4 子どもが元気に育つまち

①子どもが元気に育つまち

(内容)

子どもたちの豊かな心を育むため、大人も子どもも日頃から文化、芸術、スポーツ等に親しめるような環境づくりに努め、生涯にわたる学習意識の土壌作りに努めるとともに、子どもを対象とした事業を実施します。

5 高齢社会への対応方針

①高齢社会への対応方針

(内容)

近年、自由時間の増大により、市民の自主的で、創造的な生涯活動が活発になってきており、高齢者の参加が増えています。このため各種講座、文化イベント等の生涯学習事業を実施するに当たり、安全確保や参加しやすい条件整備と情報提供の充実を図っていきます。

6 重要な取組事項

①(仮称)鎌倉美術館の整備

(内容)

野村総合研究所跡地に整備を予定している(仮称)鎌倉美術館については、「(仮称)鎌倉美術館」諸室配置計画等検討委員会の検討結果を踏まえて、整備計画を策定するとともに、今年度は学識経験者の指導・助言を得ながら、基本設計につなげるための詳細検討を行います。

②生涯学習にかかる支援体制の充実

(内容)

大ホール・ギャラリー等の円滑な利用を促進するため、学習支援コーナーの充実を図ります。

③学習センター施設の有機的な活用及び稼働率の向上

(内容)

鎌倉市生涯学習推進委員会との連携を密接に図り、企画する講座について地域的テーマを生かすなど、全体としてバランスの取れた有機的な活用を推進し、各学習センターの稼働率をインターネット上に公開し、勤労者向けの講座を開催するなど、稼働率の低い夜間利用の向上を目指します。

④スポーツ施設の充実

(内容)

指定管理者制度を導入している施設について、円滑な管理運営が遂行されるよう適切にモニタリングを行っていきます。

また、見田記念体育館の体育室に冷暖房施設を設置し、利用者サービスの向上を図ります。

⑤子ども読書活動の推進に向けた事業等の実施
(内容) 平成20年2月に策定された「鎌倉市子ども読書活動推進計画」に基づき、平成20年度は、様々な児童サービスを実施するとともに、計画実現のため、実施体制の検討及び整備の準備を進めてまいりました。平成21年度は、具体的に推進の体制を整え、さらに子どもたちの豊かな読書環境整備のための事業を実施していきます。
⑥(仮称)鎌倉博物館の整備
(内容) 野村総合研究所跡地に整備を予定している(仮称)鎌倉博物館については、「(仮称)鎌倉博物館」展示計画等検討委員会の検討結果を踏まえて、整備計画を策定するとともに、今年度は学識経験者の指導・助言を得ながら、基本設計につなげるための詳細検討を行います。
⑦史跡永福寺跡環境整備事業
(内容) 平成25年度当初の仮オープンを目指し、今年度から三堂基壇・苑池の復元整備工事に着手します。